事務局だより

総会

昭和55年11月23日(慶大日吉において,第47回大会期 間中に開催)

総会議題

- 1. 開会
- 2. 議長選出
- 3. 事業報告
- 4. 日本学術会議心理学関係連絡会報告
- 5. 心理学諸学会間連絡会報告
- 6. 第46回大会会計報告
- 7. 昭和54年度決算(別添)
- 8. 昭和55年度予算(含会費値上げ案別添)
- 9. 会費未納者の件
- 10. 名誉会員の推せん (別添)

11. 運営委員の改選(別添)

- 12. 次期大会開催校
- 13. その他
- 14. 閉会

総会関係記事

議長:太田垣会長

会費値上げについて、決算、予算の説明の後で審議が 行われ、55年度より1500円値上げを決定。

名誉会員は新たに2名が決定した。藤本喜八、塚田 毅。

次期大会校:中京大学,会長:鶴田正一名誉会員。大会事務局長:神作博常任委員。

次回よりの常任運営委員会は、鶴田会長が議長となって行われる。

昭和54年度決算報告

収	入		支	出	i			
項 目	実 行 額	予 算 額	項目	実 行 額	予 算 額			
前年度繰越	932,158	932,158	46回大会補助	300,000	300,000			
学 会 費	1,310,000	1,800,000	シンポジウム費	47,452	50,000			
過年度分	(344,000)	500,000	印 刷 費	1,096,570	1,050,000			
本 年 度 分	(942,000)	1,200,000	機関誌	(1,096,570)	(950,000)			
次 年 以 降	(24,000)	100,000	その他	(0)	(100,000)			
雑 収 入	17,599	100,000	通信費	220,100	400,000			
			機関誌	(177,200)	(250,000)			
			一般	(42,900)	(150,000)			
			さいころじすと	40,814	100,000			
			連絡会関係費	15,300	30,000			
			運営委員会費	93,330	50,000			
			事 務 局 費	301,603	400,000			
			アルバイト費	30,000	250,000			
			積 立 金(名ボ)	100,000	100,000			
			予 備 費		102,158			
. 10			次年繰越金	14,588				
計	2,259,757	2,832,158	計	2,259,757	2,832,158			

昭和55年度予算

収	入	支	出		
項目	金額	項目	金額		
前 年 度 繰 越 金 学 会 費 過 年 度 分 本 年 度 分 (2000円+1500円) ×700名 次 年 以 降 雑 収 入	14,588 2,830,000 (350,000) (2,450,000) (30,000) 100,000	47シ印 機そ 機一い 営務 バ金 イン 関の 関 じ会員 ト名 サン 関の 関 じ会員 ト名 かん 金 がん 金 がん 金 がん 一 の と 費 費 費 費 費 費 費 で 会 が の 関 が る 備 か の 関 が る 値 が る 値 が る が る 値	300,000 50,000 1,100,000 (1,000,000) (100,000) 400,000 (200,000) (80,000) 100,000 30,000 100,000 400,000 200,000 100,000 100,000		
計	2,944,588	計	2,944,588		

(積立金 100,000円)

日本応用心理学会運営委員

(1980年11月~2カ年)

会長 鶴 田 正 - 副会長 太田垣 瑞一郎 事務局長 斎 藤 幸 - 郎 幹事 平 野 馨 運 営 委 員 $(\bigcirc$ 印は常任)

秋	葉	英	則	○安	倍	淳	吉	新	井	康	祐	〇石	毛	長	雄	石	津		元
乾			孝	今	井	省	吾	遠	藤	辰	雄	大	塚	博	保	大	平	勝	馬
〇大	村	政	男	〇大	脇三	: 恵	子	岡	村	_	成	○奥	沢	良	雄	○長	田	_	臣
○恩	田		彰	片	山	義	弘	金	子	秀	彬	金	子		保	○亀	井	_	綱
○神	作		博	岸	田		博	岸	本	英	男	清	宮	栄		久	米	康	-
黒	田	正	典	黒	田	淑	子	○越	河	六	郎	古	武	弥	正	駒	崎		勉
白	井	俊	子	鈴	木	康	平	鈴	木	達	也	○高	嶋	正	士	○高	橋方	こ ま	き
高	橋	哲	也	竹	内	常	雄	武	田	正	信	手	塚	太	郎	中	Л	大	倫
中	原	弘	之	〇中	村	昭	之	○永	丘	智	郎	永	田	良	昭	長	塚	康	弘
長	Щ	泰	久	新	村		豊	〇西	岡		昭	〇長名	11(2	孫-	一郎	日	高	英	行
広	井		甫	藤	原	元		堀	内	敏	夫	〇正	田		亘	○松	井	賚	夫
○松	村	康	平	松	山	安	雄	真	仁日	Е	昭	丸	山	欣	哉	南			博
○宮	本		昇	村	井	健	祐	〇森		重	敏	森	清	善	行	横	瀬	善	正
	(以上69名)																		

監 査 委 員

大島貞夫 鳴澤 実

名 誉 会 員

伊吹山太郎 牛島義友 兼子 宙 狩野広之 北村晴朗

児 玉 省 坂 田 一 塩 入 円 祐 鈴 木 清 鈴 木 信 塚 毅(新) 鶴 田 正 一 田 豊 原 恒 男 中村弘道 長谷川 平 藤本喜八(新)正戸 良 茂 増 田 幸 一 松井三雄 松 本 洋 真辺春蔵 山下俊郎 山本晴雄 結 城 錦 一

常任運営委員会(前回報告以後)

昭和55年10月28日 出席者:長谷川,今井,武田,高 嶋,石毛,大脇,正田,中村,亀井,太田垣,斉藤,恩 田,神作,平野(松尾)

第47回大会準備状況,運営委員の改選手続の確認,名 誉会員の推薦,会費の1,500円値上げについての審議。

12月9日 出席者:鶴田,太田垣,結城,斉藤,高嶋,大脇,平野,森,長谷川,石毛(松尾)

第47回大会報告 248名参加。

常任運営委員の互選について、総会で了承された運営 委員64名に対し、互選依頼し、集計した結果を報告。別 添のように決定した。また会合日は従来通り、毎月末、 火曜日を原則とすることを決めた。

会費未納者に対する取扱いを、今回の値上げ問題とからめて再考。

結城名誉会員より、「騒音対策委員会」の 再発足の提 案がなされた。

昭和56年2月3日 出席者: 鶴田, 高嶋, 大村, 太田垣, 高橋, 森, 長谷川, 安倍, 西岡, 越河, 石毛, 松井奥沢, 大脇, 斉藤, 平野(松尾)

新常任運営委員による初回会合。

学術会議,心理学諸学会連絡会,事務局の運営状況の 報告。

機関誌第6号発行予定を9月とする。

第48回大会の準備。

公開シンポジウム開催予定の協議。

4月28日 出席者:安倍, 奥沢, 中村, 正田, 高嶋,

宮本,高橋,斉藤,太田垣,亀井,森,大脇,長谷川, 西岡,石毛,児玉,平野(松尾)

第48回大会準備状況

公開シンポジウムは恩田,宮本委員で進めていく。6 月20日予定。

6月20日 出席者: 鶴田,神作,高橋,大脇,正田, 西岡,大村,宮本,松村,亀井,恩田,安倍,太田垣, 斉藤,平野(松尾)

公開シンポジウムは、宮本常任委員の司会により、約 150名の参加者で盛会。

第48回大会の発表が切。申込は148件。臨床相談37件, 検査測定29,産業16,教育15,人格,交通14などが多い 部門である。

心理学諸学会間連絡会,学術会議関係の報告,委員の 選出を行なう。その結果,日本学術会議心理学研究連絡 委員には太田垣氏を,心理学研究文献目録委員には正田 氏をそれぞれ再任した。

さいころじすとは現在日本文化科学社で印刷発送を行っているが、都合で今後継続の辞退の申入れがあり、現在応心は編集当番学会でもあることから、対応を行っていくことが予想される。

公開シンポジウム

日時 昭和56年6月20日(土)2時~5時 場所 慶応義塾大学三田 西校舎513番教室。 テーマ 中年期の危機と飛躍。 内容については、本文を参照のこと。